

アメリカ合衆国
ジョー・バイデン大統領 閣下

抗議文

貴国が今月 14 日に、ネバダ州の核実験場で臨界前核実験を実施したことが明らかになった。

貴国が臨界前核実験を行ったことは、今後も核兵器を保有し続ける意志の表れと受け止めざるを得ない。このことは、昨年 5 月の G7 広島サミットにおいて、G7 各国首脳とともに、「広島ビジョン」を発表し、世界に向けて発信した貴国のメッセージに逆行するものである。

これは、核兵器廃絶を求める世界中の多くの人々の願いに背く行為であり、被爆地広島及び世界の 8,300 を超える都市が加盟する平和首長会議を代表して、厳重に抗議するとともに、今後一切の核実験の中止を求める。

貴国には、一発の原子爆弾がもたらした被爆の実相と被爆者の体験を深く理解し、平和を希求するヒロシマの心を受け止め、国際社会における核軍縮の取組を先導し、核兵器のない真に平和な世界の実現に向けた理性に基づく努力がなされるよう強く求める。

令和 6 年(2024 年) 5 月 18 日

平和首長会議会長

広島市長 **松井 一實**